

2019 年 9 月 19 日

各位

一般社団法人 Jミルク  
会長 川村 和夫

< 農林水産省後援 >

2019 年度 酪農乳業産業史シンポジウム開催のご案内

『日本の近代化と酪農生産の地域的広がり』

謹啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、当法人の事業運営につきまして、格別のご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

Jミルクにおいては、政府等の支援を受け、2018 年度からの 2 か年事業として、「酪農乳業産業史を活用した競争力強化事業」（以下、本事業）に取り組み、昨年 11 月 21 日に「明治 150 年記念シンポジウム～近代日本における酪農乳業の展開と発展～」を東京都において開催いたしました。

本年度につきましては、第 2 弾として札幌市、大阪市、福岡市の 3 会場で、これまでの活動で集積した知見をもとに、近代化する日本において、酪農生産の地域的な広がりや特徴について考えるシンポジウムを下記のとおり開催いたします。

各会場「2つのテーマに基づく講演」と、それぞれの地域における酪農生産の地域的な特徴を考える「パネルディスカッション」を行います。また、展示スペースを設け、これまでに本事業で収集・発見した様々な史料等の展示も行います。

つきましては、ご多忙の折とは存じますが、是非ご参加賜りますようお願い申し上げます。

謹白

記

1. 開催日時・場所◆各会場 受付は 12:45～、展示物の公開は 12:00～◆

【札幌会場】

- (1) 開催日時 10月30日(水) 13:30～17:30
- (2) 開催場所 札幌国際ビル貸会議室 8階 国際ホール  
北海道札幌市中央区北4条西4丁目1

【大阪会場】

- (1) 開催日時 11月15日(金) 13:30～17:30
- (2) 開催場所 なんばスカイオコンベンションホール 7階 ホール  
大阪府大阪市中央区難波5丁目1-60

【福岡会場】

- (1) 開催日時 12月2日(月) 13:30～17:30
- (2) 開催場所 スカラエスパシオ 地下2階 ホール  
福岡県福岡市中央区渡辺通4丁目8-28 FTビルB2

2. プログラム

別紙をご参照ください。

3. 主催

一般社団法人 Jミルク

4. 協力

日本酪農乳業史研究会、乳の学術連合

5. 後援

農林水産省

6. 参加費

無料。交通費は各自でご負担願います。

7. お申込方法

別紙「2019 年度 酪農乳業産業史シンポジウム 日本の近代化と酪農生産の地域的広がり 参加申込書」に参加をご希望される会場を記入しファックスもしくはメールにてご返信下さい。なお、複数会場のご参加も問題ございません。

8. お申込締め切り

- (1) 札幌会場 10月23日(水)
- (2) 大阪会場 11月 8日(金)
- (3) 福岡会場 11月25日(月)

9. 定員

各会場100名。定員になり次第締切とさせていただきます。なお、定員後のお申込については、事務局よりお断りのご連絡をさせていただきます。

10. 問い合わせ

Jミルク生産流通グループ 担当：小沼

TEL：03-5577-7493、FAX：03-5577-3236

11. 添付

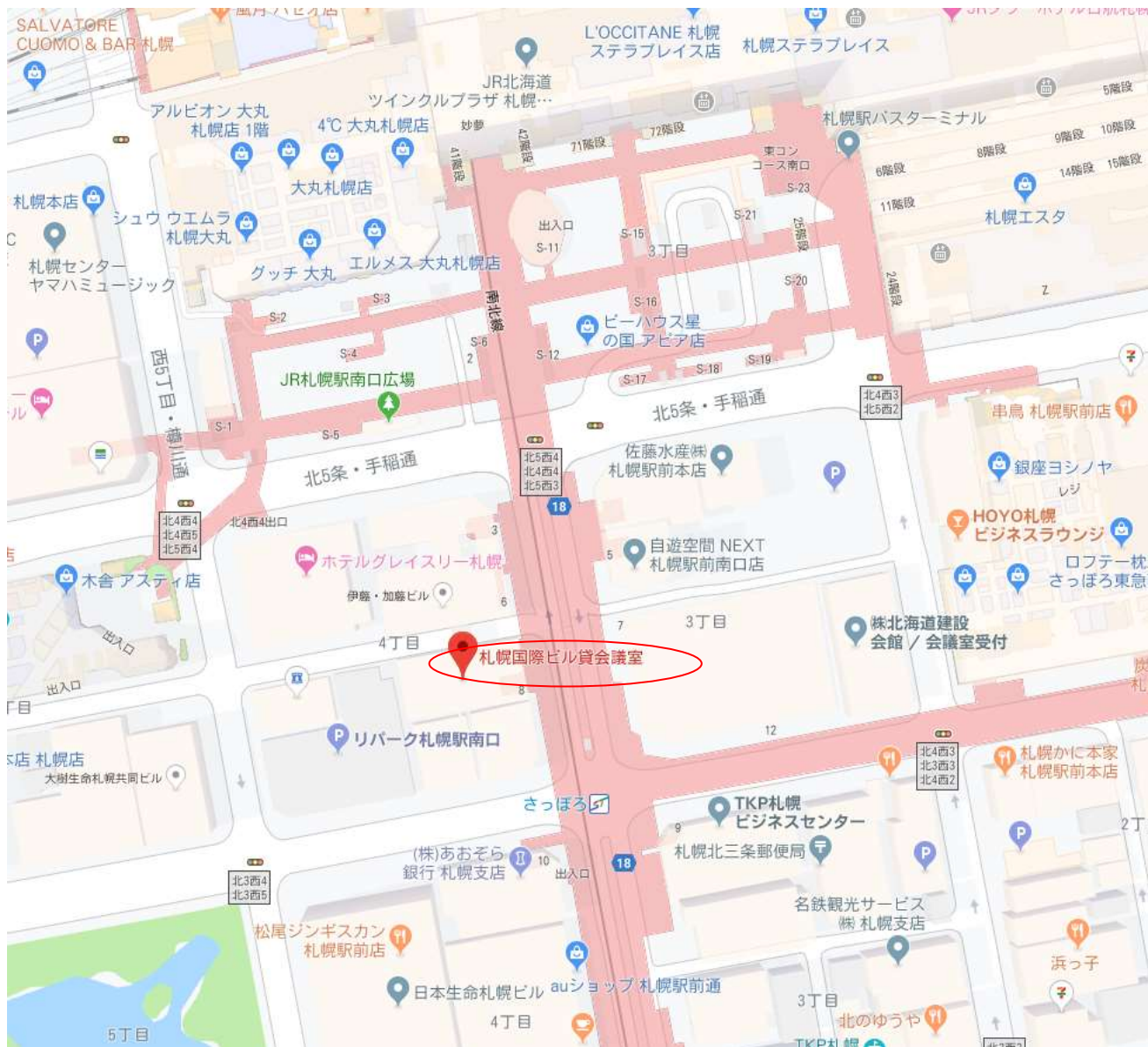
- (1) 各会場プログラム
- (2) 各会場アクセスマップ
- (3) 展示物一例(昨年度展示したもの)
- (4) 参加申込書

以 上

## 2019年度 酪農乳業産業史シンポジウム「日本の近代化と酪農生産の地域的広がり」各会場プログラム

タイムスケジュール	10月30日 (水) 札幌会場	11月15日 (金) 大阪会場	12月2日 (月) 福岡会場
	会場：札幌国際ビル貸会議室 8階 国際ホール (北海道札幌市中央区北4条西4丁目1)	会場：なんばスカイオコンベンションホール 7階 ホール (大阪府大阪市中央区難波5丁目1-60)	会場：スカラエスパシオ 地下2階 ホール (福岡県福岡市中央区渡辺通4丁目8-28 FTビルB2)
12:00 ~	展示物公開 (閉会の17:30迄)	展示物公開 (閉会の17:30迄)	展示物公開 (閉会の17:30迄)
12:45 ~	受付開始 (14:00迄)	受付開始 (14:00迄)	受付開始 (14:00迄)
13:30 ~	開会	開会	開会
13:30 ~ 13:35	主催者挨拶	主催者挨拶	主催者挨拶
13:40 ~ 14:40	講演①「明治・大正期のデーリイマンたち ～北海道根室・十勝地域を中心に～」 講演者 ライター 小林 志歩 様	講演①「京阪神の酪農乳業の誕生と発展経過」 講演者 日本酪農乳業史研究会会長 矢澤 好幸 様	講演①「近代日本酪農乳業の発展—西日本を中心に—」 講演者 西日本食文化研究会主宰 和仁 皓明 様
14:40 ~ 15:40	講演②「明治維新における西洋型農業の導入と 近代ミルク科学研究の始動」 講演者 信州大学名誉教授 細野 明義 様	講演②「近代日本人の乳製品 ～新時代が求めたその社会的価値～」 講演者 梅花女子大学食文化学部 食文化学科准教授 東四柳 祥子 様	講演②「九州地域の酪農乳業の誕生と発展経過」 講演者 日本酪農乳業史研究会会長 矢澤 好幸 様
15:40 ~ 16:00	休憩	休憩	休憩
16:00 ~ 16:10	Jミルクからのご案内～酪農乳業史デジタルアーカイブをはじめとする本事業の成果物のご案内～	Jミルクからのご案内～酪農乳業史デジタルアーカイブをはじめとする本事業の成果物のご案内～	Jミルクからのご案内～酪農乳業史デジタルアーカイブをはじめとする本事業の成果物のご案内～
16:10 ~ 17:25	【パネルディスカッション】 テーマ 「北海道酪農の展開と地域の特徴を考える」 座長 酪農学園大学名誉教授 安宅 一夫 様 パネリスト① ライター 小林 志歩 様 パネリスト② 信州大学名誉教授 細野 明義 様 パネリスト③ 西日本食文化研究会主宰 和仁 皓明 様	【パネルディスカッション】 テーマ 「近畿地域における酪農生産のひろがり」と乳利用を考える」 座長 一般社団法人Jミルク専務理事 前田浩史 パネリスト① 日本酪農乳業史研究会会長 矢澤 好幸 様 パネリスト② 梅花女子大学食文化学部 食文化学科准教授 東四柳 祥子 様 パネリスト③ 同志社大学経済学部非常勤講師 橋爪 伸子 様	【パネルディスカッション】 テーマ 「西日本における酪農の近代史とその地域の特徴を考える」 座長 西日本食文化研究会主宰 和仁 皓明 様 パネリスト① 日本酪農乳業史研究会会長 矢澤 好幸 様 パネリスト② ひまわり乳業(株)代表取締役社長 吉澤 文治郎 様 パネリスト③ 一般社団法人Jミルク専務理事 前田浩史
17:25 ~ 17:30	閉会	閉会	閉会

## 札幌会場（10月30日（水））：札幌国際ビル貸会議室8階国際ホール



札幌国際ビル 8階見取り図



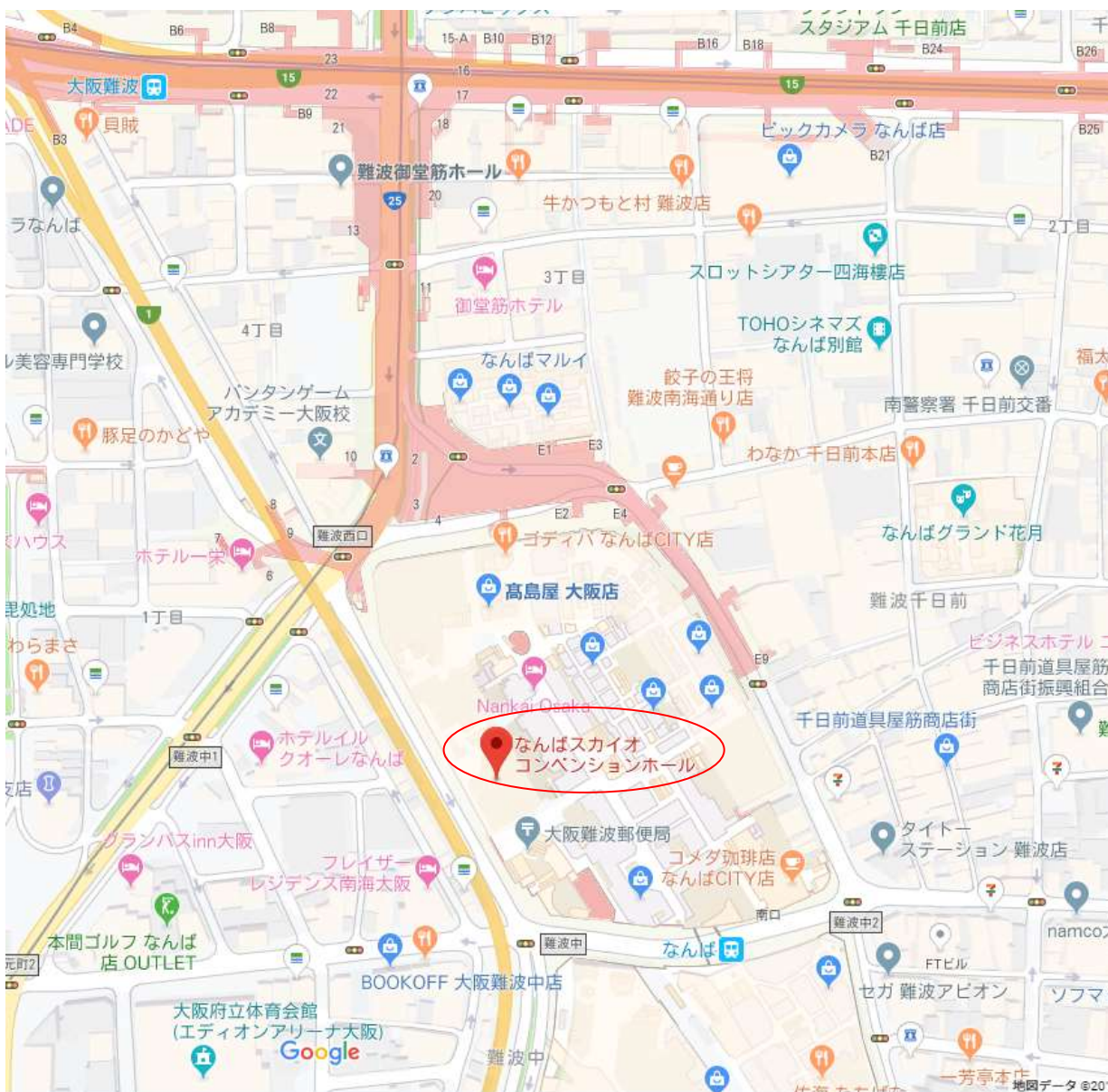
住所：札幌市中央区北4条西4丁目1番地 札幌国際ビル8F

TEL：011-241-9020 FAX：011-232-4779

最寄駅：さっぽろ駅8番出口すぐ



## 大阪会場（11月15日（金））：なんばスカイオコンベンションホール7階ホール



住所：〒542-0076 大阪府大阪市中央区難波5丁目1-60

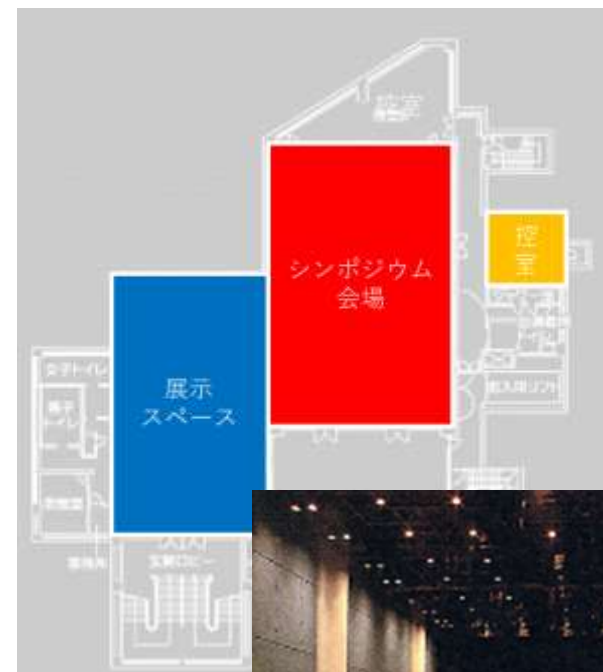
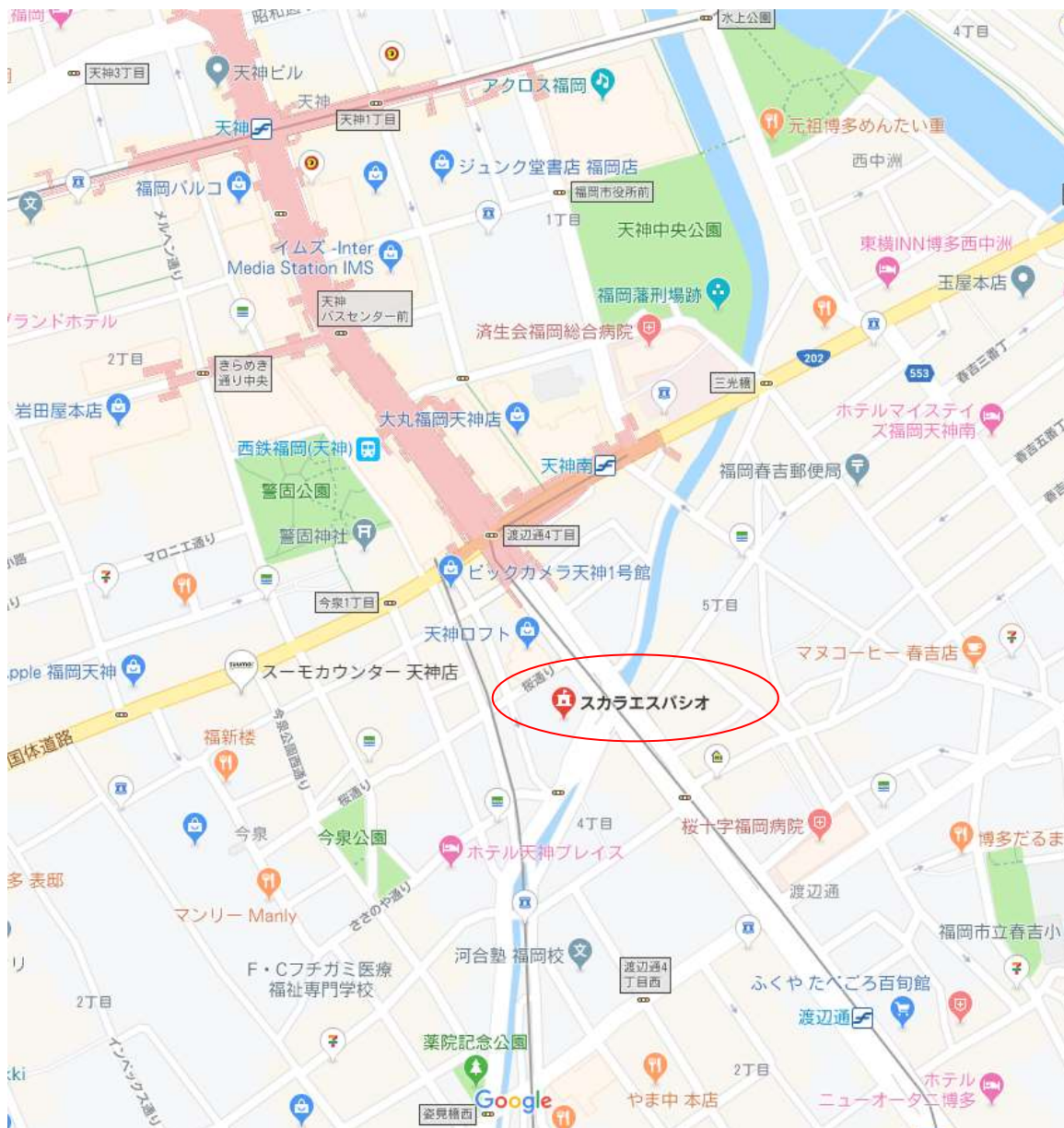
TEL：06-6644-1081

最寄駅：南海各線 南海なんば駅 徒歩1分

地下鉄御堂筋線 なんば駅 徒歩2分

近鉄奈良線・阪神なんば線 大阪難波駅 徒歩5分

## 福岡会場（12月2日（月））：スカラエスパシオ地下2階ホール



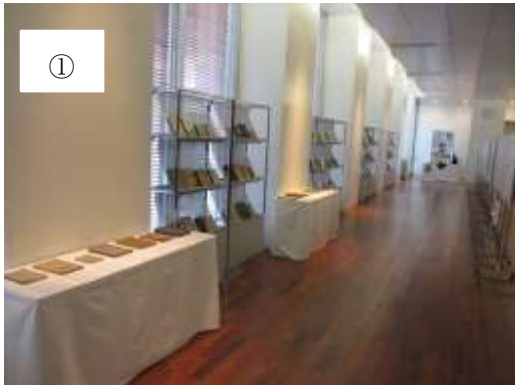
住所：〒810-0004 福岡県中央区渡辺通 4-8-28

TEL：092-712-8833

最寄駅：天神大牟田線 西鉄福岡(天神)駅 徒歩2分

地下鉄空港線 天神駅 徒歩2分





①、②、③

明治・大正期の酪農乳業について記載がある書籍 100 冊を展示した。



大正期 実際に使用されていた牛乳配達車 (熊谷市立熊谷図書館様よりお借りした)

④が展示の様子、⑤が当時撮影されたもの



⑥、⑦ 日本の酪農乳業史 (古代・江戸・明治・大正・昭和戦前) をまとめた展示パネル。明治期に広告として使われた「引札」なども紹介



⑧ 明治・大正期に使用されていた牛乳瓶 (トモエ乳業(株)様よりお借りした)



⑨ 乳牛籍木札。現在の牛の「登録書」に該当する。(北陸アイ・ミルク(株)様よりお借りした)

2019年 月 日

Jミルク 生産流通グループ 西沢、小沼 宛  
(FAX 03-5577-3236、Mail [t-konuma@j-milk.jp](mailto:t-konuma@j-milk.jp) )

## 2019年度 酪農乳業産業史シンポジウム

### 日本の近代化と酪農生産の地域的広がり 参加申込書

(下記ご記入の上、FAXもしくはメールでお申込みお願いいたします)

ご所属	
部署・役職	
ご氏名	
ご連絡先 (TEL)	
Eメール	
ご参加する会場 (○をしてください)	札幌 ・ 大阪 ・ 福岡

#### ※申込期日

札幌会場 10月23日(水)、大阪会場 11月8日(金)、福岡会場 11月25日(月)